

啓光だより

謹賀新年

理事長 依田 明



皆様におかれましては、希望に満ちた新年を迎えたこととお喜び申し上げます。

旧年中は、利用者・ご家族の皆様、地域の皆様、行政関係の皆様からのご支援、ご協力を賜り心より御礼申し上げます。

本年も利用者本位に基づく、障害福祉サービスの向上に努めて参りますので、引き続きご指導、ご支援の程宜しくお願ひ申し上げます。

啓光ホーム 「おおぐり」開設

12月には、啓光ホームおぐりが完成し、啓光ホーム伊野の利用者が転居致しました。この



広いリビングでゆったりと

発行元
社会福祉法人啓光福祉会
東京都多摩市和田一七一七
〇四二三七五七三〇三

発行元

社会福祉法人啓光福祉会

東京都多摩市和田一七一七

〇四二三七五七三〇三

道路拡幅工事完了

啓光学園東隣の啓光ホール敷地に面する市道が幅員3mと狭く、建築基準法の道路幅員が確保出来おりませんでしたので、幅員4.5mへの拡幅工事を行いました。

この市道拡幅は、隣接する地

権者の土地提供のご協力を得て、実現できました。今後は、この用地の利用計画を進め参ります。



門松造り

啓光福祉会では施設管理の一環として、28年末より新年を迎えるに際し、各施設の玄関に門松を飾っています。

29年からは、障害者向けコンサートへの招待など日頃からお世話になっているパルテノン多摩に提供しております。

竹は、啓光学園北側の竹林か

ら10数mもの孟宗竹を提供していただきます。

【削ぎ（そぎ）】

竹の長さは、大きいものは180cmから小さいものは80cmまで、施設の大きさに合わせて整えます。竹の先は、斜めに鋭く断つ「削ぎ」に加工します。

【竹を研ぐ・活ける】



利用者の皆さんとは、竹の緑を引き立てるためニスを塗る工程とポツトに土を入れて竹を活け込む工程を一緒に行いました。日頃から、農園活動や創作活動で慣れているためか、職員がお願いした工程を直に理解して、上手に道具を使って作成に取り組みました。



パルテノン多摩の門松

■ 各事業所にて クリスマス会が 開かれました

毎年の季節行事として、今年は12月21日に啓光えがお、12月25日に啓光学園でクリスマス会を行いました。

啓光学園のクリスマス会にはなかまの樹の利用者の皆さんも駆けつけ、演奏を聞いたり、料理を食べ楽しいひと時を過ごしました。



啓光学園／昼食はビュッフェ方式
ステーキやピラフ、ケーキやクレープなどを楽しみました



きな粉やあんこなど
色とりどりのお餅を楽しみました

■ 新年の恒例行事 もちつき会

今年もそれぞれの事業所で餅つきを行い、嗅聴視触味すべての五感で新年の到来を感じました。



啓光えがお／クリスマスに関連した
音楽の演奏があり、会を大いに盛り上げました

つき手と合いの手をはじめとした一連の作業には、阿吽の呼吸が求められます。現代社会にこそ必要な行事かもしれません。



餅つきの様子（左 1 枚目／啓光えがお、2.3 枚目／啓光学園）
威勢のいい掛け声とともに、杵が餅を打つ心地よい音が響き渡りました



権利擁護委員会 全体会の様子

啓光福祉会では、利用者の皆さんに安心して施設を利用して頂くことと、福祉サービスの質の向上を目指して権利擁護委員会を設置しています。11月30日に権利擁護委員会の全体会を実施し、委員会の取り組みを報告させて頂きました。利用者、ご家族の所属する当事者部会の皆さんからは貴重なご意見を頂き、それを踏まえた更なる課題に向かって委員会として取り組んでいきます。

■ 権利擁護委員会 全体会が開催されました



学園祭で展示された児童部利用者さんの作品

児童部では、新たに1名が入所し、児童が増えたことで楽しく過ごしています。

秋は学園祭のシーズンであり、舞台発表や作品展示などを見学すると昨年度は見られなかつた姿を見る事が出来、成長を感じられました。

現在これまで取り組んできた支援内容を療育支援の指針としてまとめており、この指針を基に統一した支援を行っていきたいと思つております。

仮装については事前に希望者を募り、当日にメイクをしました。また各フロアを飾り付け、食事はハロウィンにちなみかぼちゃを使用したものにするなど、ハロウイン一色普段と違った雰囲気で食事などを楽しめました。

今後も利用者の皆さんができるように工夫してイベント企画していくたいと思います。

啓光学園／児童

啓光学園／成人

啓光学園／生活介護

△各事業所のトピックス▽

なかまの樹

今年度初めての試みとして10月28日に「ハロウイン」のイベントを行ないました。



ハロウイン特別メニュー

季節の野菜を育て収穫してきた農園活動では、暑さが厳しくなる頃に植えた薩摩芋の収穫が年末の大きなイベントとなりました。

皆さんで農園に行き、実際に掘つて収穫する事で収穫の喜びを味わいました。掘つた芋は忘年会の日に焼き芋として提供し、大好評でした。

受注作業を行うさくら作業所も順調で、11万円を超える売り上げを皆さんに還元しております。



収穫の様子／沢山の薩摩芋が収穫出来ました



皆さんに工程を説明してから一緒に作りました

完成したうどんはご家庭へお持ち帰り頂き、とても好評でした。

午後は練つたうどんを手添えにて成型やカット、また啓光学園まで試食の配達も行いました。

年内営業最終日の12月28日は皆さんでうどん作りを行いました。

午前中は粉を練る行程から参加して頂き、うどんのコシに敷いて皆さんで上から踏みました。

啓光えがお

【社会との関わりの証として】

利用者の皆さんが多くは、啓光えがおに来られることを「しごとに行く」と表現します。今年度は、「しごと」の結果である自主製品の売れ行きが、少しずつ伸びてきました。



啓光えがおで作られる自主製品

丸はがきは、遠方からの受注が増え、工芸品や野菜も良く売っています。石鹼を気に入つて定期的に購入しに来て下さるお客様もいます。

利用者の皆さん日々の取り組みがモノになり、どこかで誰かの役に立つという目標を実感した1年でした。



熱海旅行／潮風と海の幸を満喫してきました

昨年の啓光ホームでは、「宿泊旅行」「引越」「第三者評価」という、3つの初がありました。3ホーム合同総勢29名の熱海旅行は、賑やかな1泊2日でした。「おおぐり」への転居では、準備から利用者さんをはじめご家族のご協力も得て無事引越が完了しました。

福祉サービス第三者評価では好評を得た所は定着・向上を目指し、指摘事項は今後の事業計画に取り入れ利用者の真のニーズを把握する支援力・組織力向上に努めてまいります。

啓光ホーム

普通のコンサートと音楽療法は何が違うのか?前者は作品性・芸術性の鑑賞という音楽そのものが主体で、後者は音楽をツールとして心身のケアに貢献する人が主体になる活動です。その専門性を持つ人が音楽療法士です。



おしごと紹介 (啓光学園・音楽療法士の仕事)

普通のコンサートと音楽療法は何が違うのか?前者は作品性・芸術性の鑑賞という音楽そのものが主体で、後者は音楽をツールとして心身のケアに貢献する人が主体になる活動です。その専門性を持つ人が音楽療法士です。

日本では正式な資格はなく、日本音楽療法学会などが地位向上に向け上に向けた取り組んでいます。欧米では主に個のセラピー・医療行為として、日本では集団の音楽レクリエーションとして発展してきました。

学園のセッションでは集団、個人としても歌唱、ダンス、楽器演奏などをやります。音楽の力で様々なかボーダーを超える事ができ、自己・他者と喜びや感動でつながることで生きる力が高まります。何よりその人を知る事、人を愛する事が基本といえる仕事です。

＜啓光福祉会 事業所一覧＞

○啓光学園(法人本部)／知的障害者(児)入所施設
東京都多摩市和田 1717 TEL 042-375-7303

○なかまの樹／重症心身障害者通所施設
東京都多摩市和田 1730-3 TEL 042-356-4006

○啓光えがお／知的障害者通所施設
東京都多摩市南野 3-15-1 多摩市総合福祉センター1・2F TEL 042-376-5044

○啓光ホーム／知的障害者グループホーム
①啓光ホーム石村 東京都多摩市一ノ宮 4-27-12 TEL 042-339-7513
②啓光ホームおおぐり 東京都多摩市一ノ宮 4-39-15 TEL 042-319-3380
③啓光ホームいすみ 東京都多摩市和田 1721-7 TEL 042-401-9331

○啓光相談支援センター／特定相談支援事業所
東京都多摩市南野 3-15-1 多摩市総合福祉センター1F TEL 042-376-5044

編集後記

「啓光ホームおおぐり」が新年を迎えるとともに開設されました。

幸せをもたらす年神様をお呼び迎える前に祀られる門松には豊作や長寿の願いも込められています。

「おおぐり」の歴史は、「グループホーム豊ヶ丘寮ふれんず」から始まり、「伊野」へと名称や場所を変えながら20年という長い年月を重ねてきました。これからも地域に根差したサービスの提供に末永く努めて参ります。